【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【公開番号】特開2009-32676(P2009-32676A)
【公開日】平成21年2月12日(2009.2.12)
【年通号数】公開・登録公報2009-006
【出願番号】特願2008-149371(P2008-149371)
【国際特許分類】
Ｆ２１Ｓ　 2/00　　(2006.01)
Ｆ２１Ｖ　19/00　　(2006.01)
Ｆ２１Ｙ 101/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｓ　 5/00　　Ａ
Ｆ２１Ｖ　19/00　　１３０
Ｆ２１Ｙ 101:00

【手続補正書】
【提出日】平成23年5月12日(2011.5.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電気ランプ（１）であって、
当該電気ランプは、１つの終端部に口金を有しており、
口金（２）内に取り付けられた外管バルブ（３）を有しており、
少なくとも１つの組み込みランプ（４）を有しており、
当該組み込みランプは前記外管バルブ（３）内に配置されており、
前記口金（２）から前記組み込みランプ（４）へと少なくとも２つの給電ワイヤー（１５）を有している形式にものにおいて、
前記少なくとも２つの給電ワイヤー（１５）は円柱状のバルブ（５）によって取り囲まれており、
当該円柱状のバルブは非導電性の光プリアンブル材料から形成されており、
前記円柱状のバルブ（５）は前記組み込みランプ（４）のための保持装置の形状を有している、
ことを特徴とする電気ランプ。
【請求項２】
前記円柱状のバルブ（５）は、前記組み込みランプ（４）を収容するための少なくとも１つの切り欠き（９、１７）を有している、請求項１記載の電気ランプ（１）。
【請求項３】
前記組み込みランプ（４）を収容するための切り欠き（９）は、組み込みランプ（４）の口金（１０）の断面領域の輪郭を有している、請求項２記載の電気ランプ（１）。
【請求項４】
前記組み込みランプ（４）を収容するための前記切り欠き（９、１７）の断面領域は、少なくとも実質的に矩形の輪郭を有している、請求項２または３記載の電気ランプ（１）。
【請求項５】

前記切り欠き（１７）は、２つの平行側面（１９）を有するスリット（１７）の形状である、請求項２から４までのいずれか１項記載の電気ランプ（１）。

【請求項６】

前記組み込みランプ（４）はダブルＴ字型の断面を伴う口金（１０）を有しており、各ケースにおいて、少なくとも１つのスリット（１７）と隣接する、前記円柱状バルブ（５）の円柱状セグメント（１８）の少なくとも１つの外側縁部（１９）は、突出部（１２）の内側で前記口金（１０）の少なくとも２つの突出部（１２）を圧迫する、請求項１から５までのいずれか１項記載の電気ランプ（１）。

【請求項７】

前記円柱状のバルブ（５）は矩形の外側輪郭を備えた上方領域（８）を有している、請求項１から６までのいずれか１項記載の電気ランプ（１）。

【請求項８】

少なくとも１つのばね部材（１４）が、前記円柱状のバルブ（５）と前記組み込みランプ（４）との間に配置されている、請求項１から７までのいずれか１項記載の電気ランプ（１）。

【請求項９】

前記組み込みランプ（４）の少なくとも１つの給電線（１４）はばね部材（１４）の形状である、請求項１から８までのいずれか１項記載の電気ランプ（１）。

【請求項１０】

前記口金（２）から前記組み込みランプ（４）への少なくとも１つの給電ワイヤー（１５）は、前記組み込みランプ（４）の少なくとも１つの給電線（１４）に溶接によって接続されている、請求項１から９までのいずれか１項記載の電気ランプ（１）。

【請求項１１】

前記非導電性の光プリアンプル材料は、前記外管バルブ（３）に使用された材料と同じである、請求項１から１０までのいずれか１項記載の電気ランプ（１）。

【請求項１２】

前記円柱状のバルブ（５）は前記外管バルブ（３）に接続されている、請求項１から１１までのいずれか１項記載の電気ランプ（１）。

【請求項１３】

前記組み込みランプ（４）は高圧ハロゲンランプである、請求項１から１２までのいずれか１項記載の電気ランプ（１）。